

第9回 診断病理サマーフレスト 病理と臨床の対話

テーマ 腎生検：患者のためになる病理診断のあり方

主催：日本病理学会、日本腎臓学会(共催)

開催日：2015年9月5日(土)、6日(日)

会場：京都テルサ

世話人：長田道夫（筑波大学医学医療系、腎・血管病理学）

対象：病理医、臨床医

参加費：20,000円（研修医15,000円）懇親会 なし。

* ハンドアウトは事前発送の予定。

* Refreshment は各自でご用意ください。

ねらい：

- ・ 腎生検病理診断のスキルと臨床への意義について解説する
- ・ 腎生検病理診断の実際（臨床データの役立て方、病変の読み方の手順、診断書の書き方など）について解説する。
- ・ バーチャルスライドを用いた実践的な診断過程、診断書の作成を提示する。

講義内容

1. 臨床医が必要とする（患者のためになる）病理診断のありかた
2. 腎疾患分類の仕組みと臨床情報（腎臓病の背景としての全身疾患）
3. 病変の主座の決定と時間軸の理解（糸球体と間質の病変関連）
4. 糸球体病変の読み方の基本と鑑別
5. 尿細管間質病変の読み方の基本と鑑別
6. 腎生検標本から把握する病態と組織活動性
7. 蛍光抗体法の診断意義と問題
8. 診断に有用な電子顕微鏡の見方（鑑別に必要な電顕の利用法）
9. 診断書の書き方

スケジュール

平成 27 年 9 月 5 日(土)

12:30 開場・受付
12:55 着席・挨拶

第 1 部 腎生検病理診断に必要な基礎知識

13:00 臨床に意味のある病理診断 (片渕律子)
13:25 腎の疾患分類を理解する (長田道夫)
13:50 病理診断に役立つ臨床情報 (西慎一)
14:15 腎臓の構造と機能(長濱清隆)
14:40 休憩 20 分

第 2 部 病変の読み方と病態の把握

15:00 糸球体病変の多様性活動性 (清水章)
15:25 間質・血管病変の多様性活動性 (岡一雅)
15:50 観察のフローチャート (長田道夫)
16:15 蛍光抗体法の質と診断意義 (原重雄)
休憩 20 分
17:00 電顕診断の有用性と限界 (上杉憲子)
17:25 小児の腎臓病の特殊性(松岡健太郎)
17:50 病理診断書の書き方 (本田一穂)
18:15 質疑応答 (西、長田、片渕、本田、清水)
18:45 終了予定

平成 27 年 9 月 6 日(日)

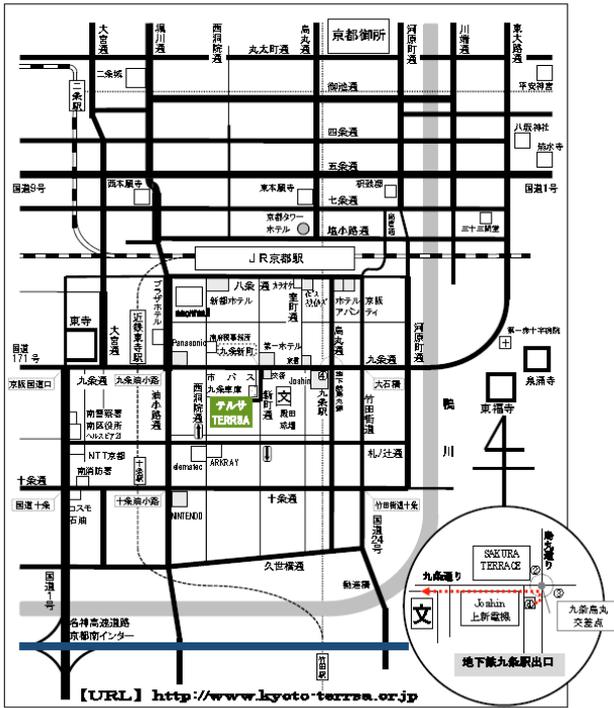
8:20 開場 (受付不要)

第 3 部 バーチャルスライドを用いた症例検討

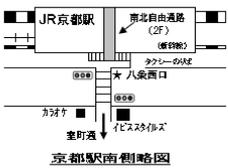
8:30 症例検討 1 FSGS (臨床医 + 清水章)
8:50 ネフローゼ症候群の鑑別診断 (清水章)
9:20 症例 2 ループス腎炎 (臨床医 + 原重雄)
9:40 メサンギウム/管内増殖の鑑別診断 (原重雄)
10:10 症例 3 ANCA (臨床医 + 大橋隆治)
10:30 管外増殖の鑑別診断 (大橋隆治)
11:00 休憩 15 分
11:15 症例 4 MPGN (臨床医 + 本田一穂)
11:25 MPGN の鑑別診断 (本田一穂)
11:55 症例 5 間質性腎炎 (臨床医 + 小池淳樹)
12:15 間質性腎炎の鑑別 (小池淳樹)
12:40 症例 6 TMA (臨床医 + 大橋健一)
13:00 TMA の鑑別 (大橋健一)
13:30 終了予定

京都テルサ

京都テルサまでのご案内



【URL】 <http://www.kyoto-terra.or.jp>



京都テルサ TEL 075-692-3400(代)
 京都市南区新町通九条下ル FAX 075-692-3402
 京都府民総合交流プラザ内 地下駐車場180台(有料)
 ○JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分
 ○近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
 ○地下鉄九条駅④番出口より西へ徒歩約5分
 ○市バス九条車庫南へすぐ
 ○名神京都南インターより国道1号北行き市内方面へ九条通を東へ、九条新町交差点を南へ

大型バスが駐車可能な屋外有料駐車場がございます。(予約優先制)